

編集後記

年が明けてから「アベノミクス」の文字を新聞で見ない日はなく、日本の雰囲気内創出に向けて明るく変わりつつあるのを実感します。

「事前防災を重視した国土強靱化」も又、重要な政権公約です。ダム工事、事前防災の重要な一翼を担う事が期待されます。

巻頭言は一般社団法人日本大ダム会議会長坂本忠彦様に御願い致しました。昨年は国際大ダム会議が6月に開催され、会議の国際的成功と、日本の技術が世界でも傑出したものである事、海外雄飛への期待を述べられています。

報文では、その世界に冠たる日本の技術を多数紹介しております。

外部コンクリートと独立し、RCDコンクリート打設を先行させる巡航RCD工法、台形ダムとCSG工法の特徴を併せもち、材料の合理化に寄与する、台形CSGダム、そしてリアルタイムで工程管理が可能なICT

活用事例等。

リニューアル事例も紹介させて頂きました。小浜ダムの土砂バイパストンネル工事や、洪水で治水の役割を果たした鶴田ダム再開発工事の事例、ダム堆砂の移動システム。

環境保全の視点から、低炭素社会の実現に向けた水力発電の取り組みと、東日本大震災時のダムの多面的機能についてもご紹介しました。

日本は水資源と、山の高低差の位置エネルギーを有する、資源大国でもあります。持続可能な発展の為に、日本にダムは欠かせず、工事の合理化、リニューアル、環境への取り組みは今後も続いていきます。今号で紹介した日本のダム技術と、ダムへの取り組みのご紹介が、関係者の皆様の一助になれば幸いです。

最後になりましたが、ご多忙中にもかかわらず、快くご執筆を引き受けて頂いた皆様に、この場をお借りして深く御礼申し上げます。

(赤神・原口)

機関誌編集委員会

編集顧問

今岡 亮司	加納研之助
桑垣 悦夫	後藤 勇
佐野 正道	新開 節治
関 克己	高田 邦彦
田中 康之	塚原 重美
中岡 智信	中島 英輔
橋元 和男	本田 宜史
渡邊 和夫	

編集委員長

田中 康順 鹿島道路(株)

オブザーバ

山下 尚 国土交通省

編集委員

桑原 一登	農林水産省
伊藤 健一	(独)鉄道・運輸機構
篠原 望	鹿島建設(株)
和田 一知	(株)KCM
安川 良博	(株)熊谷組
原口 宏	コベルコ建機(株)
原 茂宏	コマツ
藤永友三郎	清水建設(株)
赤神 元英	日本国土開発(株)
山本 茂太	キャタピラージャパン(株)
久保 隆道	(株)竹中工務店
齋藤 琢	東亜建設工業(株)
相田 尚	(株)NIPPO
船原三佐夫	日立建機(株)
岡本 直樹	山崎建設(株)
川西 健之	(株)奥村組
石倉 武久	住友建機(株)
江本 平	範多機械(株)
京免 継彦	佐藤工業(株)
岡田 英明	五洋建設(株)
藤島 崇	施工技術総合研究所

3月号「新しい建設材料特集」予告

- ・コンクリート補修材料の標準化 海外の動向に学ぶ
- ・ハイブリッド有機繊維コンクリートによる道路橋床版補強工法
HFRCによる橋梁床版補強工法
- ・生分解性吸水高分子ゲルを用いたコンクリートの初期養生
- ・海水練りコンクリート技術の各種構造物への適用
- ・高靱性セメント系複合材料 ECC
- ・低炭素セメントを使用した半たわみ性舗装
- ・柔軟なアスファルト混合物を用いた凍結抑制舗装 アイス・インパクトの開発
- ・軟弱泥土を高機能的地盤材料に再資源化 ポンテラン工法の原理と特徴
- ・ハイグレードソイル 建設発生土の有効利用技術
- ・樹脂の膨張力でコンクリート床版の沈下を修正
短期間で沈下修正・空洞充填を行うウレテック工法
- ・コンクリートの新補修材料 見える材料・貼る材料

No.756「建設の施工企画」 2013年2月号

[定価] 1部840円(本体800円)
年間購読料9,000円

平成25年2月20日印刷

平成25年2月25日発行(毎月1回25日発行)

編集兼発行人 辻 靖 三

印刷所 日本印刷株式会社

発行所 一般社団法人日本建設機械施工協会

〒105-0011 東京都港区芝公園3丁目5番8号 機械振興会館内
電話 (03) 3433-1501; Fax (03) 3432-0289; <http://www.jcmanet.or.jp/>

施工技術総合研究所	〒417-0801 静岡県富士市大淵 3154	電話 (0545) 35-0212
北海道支	部〒060-0003 札幌市中央区北三条西2-8	電話 (011) 231-4428
東北支	部〒980-0802 仙台市青葉区二日町 16-1	電話 (022) 222-3915
北陸支	部〒950-0965 新潟市中央区新光町 6-1	電話 (025) 280-0128
中部支	部〒460-0002 名古屋市中区丸の内3-17-10 三愛ビル5階	電話 (052) 962-2394
関西支	部〒540-0012 大阪市中央区谷町 2-7-4	電話 (06) 6941-8845
中国支	部〒730-0013 広島市中区八丁堀 12-22	電話 (082) 221-6841
四国支	部〒760-0066 高松市福岡町 3-11-22	電話 (087) 821-8074
九州支	部〒812-0013 福岡市博多区博多駅東2-8-26	電話 (092) 436-3322

本誌上へ(株)共栄通信社までお問い合わせ下さい。

本社 〒105-0004 東京都港区新橋3-15-8(精工ビル5F) 電話 03-5472-1801 FAX03-5472-1802 E-MAIL: info@kyoeitushin.co.jp
担当 本社編集部 宗像 敏